

県立中高一貫校の横手清陵
学院（庫山徹校長、中学80
人、高校326人）創立20周
年記念式典が12日、横手市大

中高支え合い、一層発展を

横手清陵 創立20周年祝い式典



横手清陵学院の一層の発展を誓い合った式典

沢の同校で開かれた。生徒や
学校関係者約600人が出席
して節目を祝い、一層の発展
を誓い合った。

庫山校長は式辞で、独自の
教育環境を生かした20年の歩
みを振り返った上で「生徒一
人一人が多様な個性を発揮で
きる教育を進める。主体性、
探究力、人間力を身に付け高
い志を持った生徒の育成に努
める」と述べた。

生徒代表の鎌田涉吾さん
（高校3年）は「コロナ禍で
は高校生が中学生に行動の手
本を示し、各種行事、活動に
柔軟に対応できた。これから
も中高が支え合い、競い合っ
て清陵の新たな1ページを築

いていく」とあいさつした。
式典後、戦場カメラマンの
渡部陽一さんが「世界からの
メッセージ」希望ある明日の
ために」と題し記念講演した。

横手清陵は2004年、横
手工業高校を母体に全国初の
工業系学科を持つ県立中高一
貫校として開校した。今年3
月までの卒業生は中学が11
63人、高校が2992人。

（藤田向）